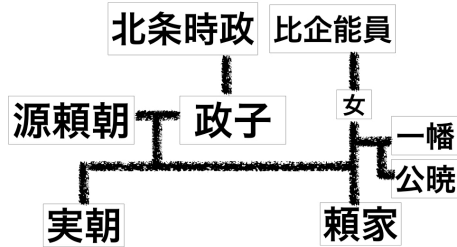


# 16 鎌倉幕府成立

## 源頼朝独裁期



初代将軍 **源頼朝** ボスは一人が源氏の世界

1199 頼朝没 (落馬?)

将軍2代 **頼家** 御家人13人による合議制へ。将軍権威失墜。

→境界争いの裁判で頼家は「土地が広い狭いかは運次第と言ってる始末」鎌倉武士が期待したのは所領の保障。頼家はいらぬ。だから13人の合議制。

1200 頼家に追放された→ **梶原景時** が御家人多数の連盟の弾劾を受け敗死。

→頼家の一の子分は景時。追い落とし成功、バックにいるのは時政!

1203 頼家急病となる。執権→時政あとは6歳の長男・一幡が関東の地頭を継ぎ、関西の地頭は弟・実朝が継ぐことにした。比企能員は納得できるわけがない。北条氏を殺すしかない!しかし時政に先手をとられる。仏事のことと言って自宅に比企を招き殺害、比企の屋敷・一族皆殺しに。

1203 \* **比企能員** の乱 → **源頼家** 伊豆へ幽閉

将軍	執権	政治	戦乱・政変
3代 <b>実朝</b>	初代 <b>時政</b>	北条時政 → <b>政所別当</b> 就任 初代 <b>執権</b> につく	1205 * <b>畠山重忠</b> の敗死

権力を執行するから執権

執権政治の開始

将軍	執権	政治	戦乱・政変
3代 <b>実朝</b>	2代 <b>義時</b>	<b>北条義時</b> → 侍所別当に <b>侍所・政所</b> 別当を兼務	1213 * <b>和田合戦</b> ▶ <b>和田義盛</b> の敗死 1219 * <b>源実朝</b> の暗殺

実朝12歳 but 実権なく、時政が政所別当として執権

時政、後妻の、そそのかしによる将軍転覆図るが義時と政子に阻止され→失脚

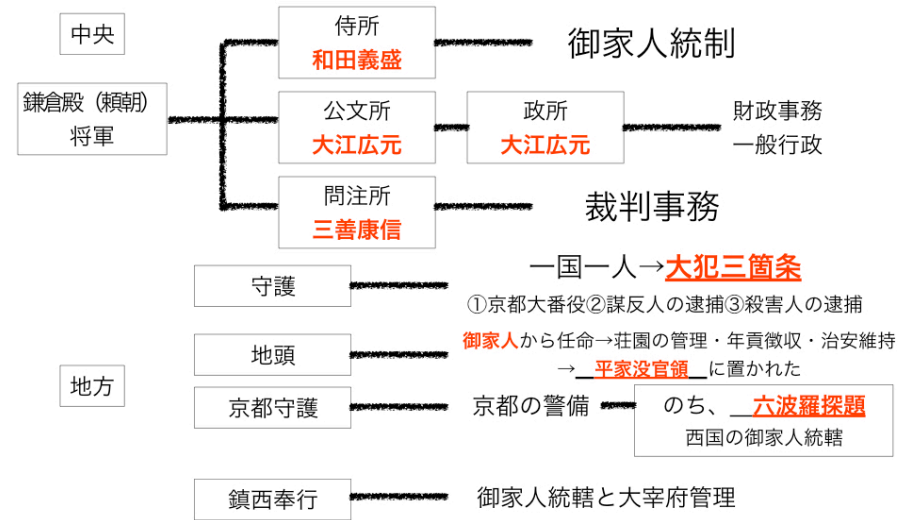
執権 = **北条義時** が継承

侍所別当である和田義盛、家来の一人にすぎない北条氏の権力に反旗。しかし敗死。

Pain is inevitable Suffering is optional

頼家の長男に、関東三十八ヶ国の地頭職を譲ることが決まったのだが、この分割統治に不満な長男 (**一幡**) が北条氏に反旗を翻し、ここに源氏と北条氏の争いへと発展していく。北条時政は最も無難な選択として、頼朝の次男で千幡 (のちの実朝) を第三代将軍として選んだ。時政は実朝を補佐し執権となった。インテリ実朝 1219.1.27 夜、鶴岡八幡宮で頼家の遺児 **公暁** によって殺害されてしまう。こうして頼朝の創立した源家将軍は三代で滅びる。

## 鎌倉幕府の組織図



## 鎌倉幕府の成立 1192 ではない。

- ①頼朝が東国支配権を樹立した治承四年 (1180 年) 説
- ②頼朝の東国支配権を承認する宣旨が下された寿永元年 (1183 年) 説
- ③守護・地頭の任命を許可する勅許が下された文治元年 (1185 年) 説
- ④頼朝が征夷大將軍に任命された建久三年 (1192 年) 説

頼朝が東国武士を従えて鎌倉を本拠とした段階で鎌倉幕府成立と言えるのではないか!

これにはいろんな説がある。山川の教科書は「**守護・地頭設置**」の **1185** 年をもって「幕府確立」とし、1192年に征夷大將軍に任命されたことをもって、「名実ともに成立」としている。

## 守護と地頭

### 1 守護

→国内の御家人を指揮、軍事・警察。1国 1 人、東国有力御家人の任命  
 ・1190年、内乱終結で兵糧米徴収が停止された。この時から国内治安維持を職務とするようになる。御家人を率いて大番役などを実施。

守護の職掌→ **大犯三カ条** (大番催促、謀反人・殺害人の検断)

※国司の持つ軍事・警察権を吸収

・大犯三カ条を役務とするが、この範囲を超えて活動し、国衛の権限を奪っていった。

### 2 地頭

→ **治安維持**、土地管理、**年貢徴収**・納入にあたる

国衛領、荘園ごとに設置、御家人となった荘官を任命

・公領の郡・郷・保、荘園ごとに設置され、年貢徴収と治安維持、土地管理をおこなう。  
 頼朝が総地頭として武士である在地領主の任免権を得たのである。家人は土地を守って欲しくて主従関係を結ぶのだ。頼朝と家人の間には土地を媒介とした主従関係ができたことになる。

初期は **平家没官領**・**東国**にのみ設置。→関東御領という。

西日本の武士は頼朝と主従関係を結んでいないので地頭を置くことできず。

## 五摂家誕生 朝廷内に腹心入れる

反頼朝派の法皇側近を免職。藤原兼実を内覧とする。藤原忠実の子・基実が近衛家を立て、その弟兼実が九条家を立てた。兼実の曾孫2人が一条、二条を立て、近衛家から鷹司が分かれて **五摂家** 誕生。

## 鎌倉幕府の特色

### 1 封建制度

幕府と御家人=土地給与を通じ→ **御恩** と **奉公** の関係

封建制とは **土地を仲立ちにした主従関係** のこと。

土地を保護してやる御恩の代わりに、奉公である **大番役** (内裏諸門の警備) 鎌倉番役・軍役をつとめる。

御恩	<b>本領安堵</b>	父祖伝来の所領の支配権を保障
	<b>新恩給与</b>	新たに地頭に任命してもらう

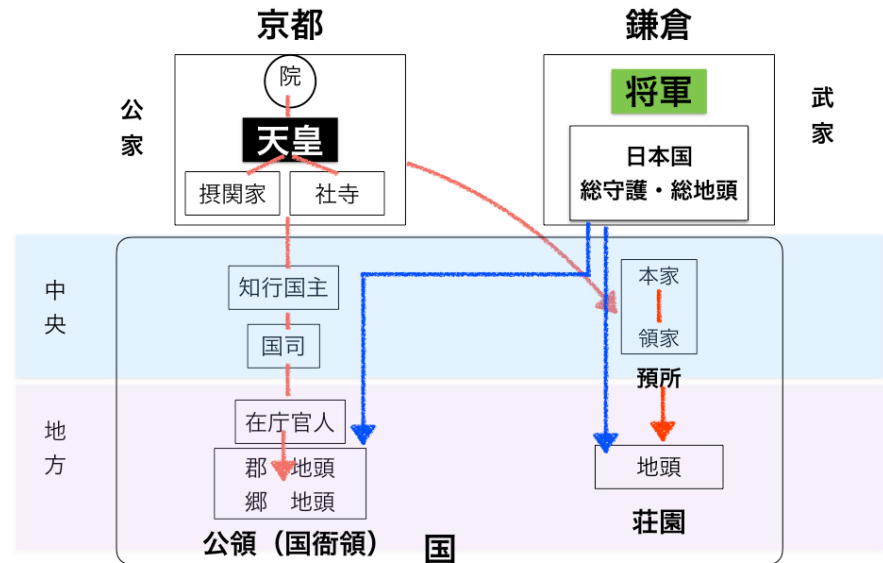
○御恩… **本領安堵** (父祖伝来の所領を保障)

○ … **新恩給与** (新たな所領などを給付)

○奉公

<b>軍役</b>	戦時に出陣 (いざ鎌倉)
<b>京都大番役</b>	皇居の警備
<b>鎌倉番役</b>	鎌倉の警備

## 2 公武二元支配



国：朝廷= **国司** (一般政務)

幕府= **守護** (軍事・警察 しかし後に国司の権限吸収)

荘園：公家= **荘園領主** (中央での支配)

幕府= **地頭** (現地支配 しかし後に荘園領主を無視)

### C 国衛領・荘園体制の温存

経済基盤→ **関東御領** (頼朝直轄荘園)

関東御領は頼朝が本家・領家を務めていた荘園。源氏の本領、平家没官領 500 カ所、承久の乱後の没収地からなる。

**関東知行国** (頼朝知行国 9カ国)